

鎌倉市名越中継施設整備基本計画(素案)

概要

◆第2回審議会確認事項

第4章 処理方式の整理・検討

1. 計画ごみ搬入量の設定
2. 施設規模の設定
3. 系列数の選定

●処理方式：コンパクト・コンテナ方式

●系列数：2系列

- 敷地面積及び形状等を踏まえ、2系列と同程度の処理能力を期待できる1系列(油圧ユニット予備)も選択肢として設定
- トラブル事例を整理

第5章 施設基本計画

2. 土木・建築計画

●耐震安全性：「廃棄物処理施設の耐震・浸水対策の手引き」に基づき設定

- 耐震安全性の分類(Ⅱ類・B類・乙類)

第8章 事業手法の検討

1. 事業方式の種類と評価

●事業手法：公設民営方式

- 公設民営方式(DB+0方式：長期包括運営委託)を基本に検討進める

第8章 事業手法の検討

2. 発注方式の種類と評価

●発注方式：公募型プロポーザル方式

◆アウトライン

第1章 計画策定の背景と目的

1. 背景
2. 目的
3. 基本方針

第2章 計画条件の整理

1. 整備計画地の概要
2. 稼働開始年度
3. 受入対象ごみ及び受入条件
4. 搬送経路
5. 関係法令の整理

第3章 計画ごみ搬入量・施設規模の算定

1. 計画ごみ搬入量の設定
2. 施設規模の設定

第4章 処理方式の整理・検討

1. 処理方式の整理
2. 処理方式の選定
3. 系列数の選定
4. 搬出入条件（中継車両概要・台数）

第5章 施設基本計画

1. 設備計画
2. 土木・建築計画
3. 施設配置計画・動線計画
4. 地域住民還元策・負担軽減策
5. 自動化計画
6. 脱炭素関連計画

第6章 公害防止計画

1. 公害防止基準
2. 環境保全対策

第7章 管理運営計画

1. 施設の運転時間
2. 施設の人員体制
3. 安全衛生計画

第8章 事業手法の検討

1. 事業方式の種類と評価
2. 発注方式の種類と評価

第9章 概算工事費・維持管理費

1. 概算工事費
2. 維持管理費

第10章 施設整備スケジュール

1. 施設整備スケジュール

◆第4章 処理方式の整理・検討

第4章 処理方式の整理・検討 3. 系列数の検討

- 系列数：2系列
 - 1系列(油圧ユニット予備)も選択肢として設定
- トラブル事例を整理

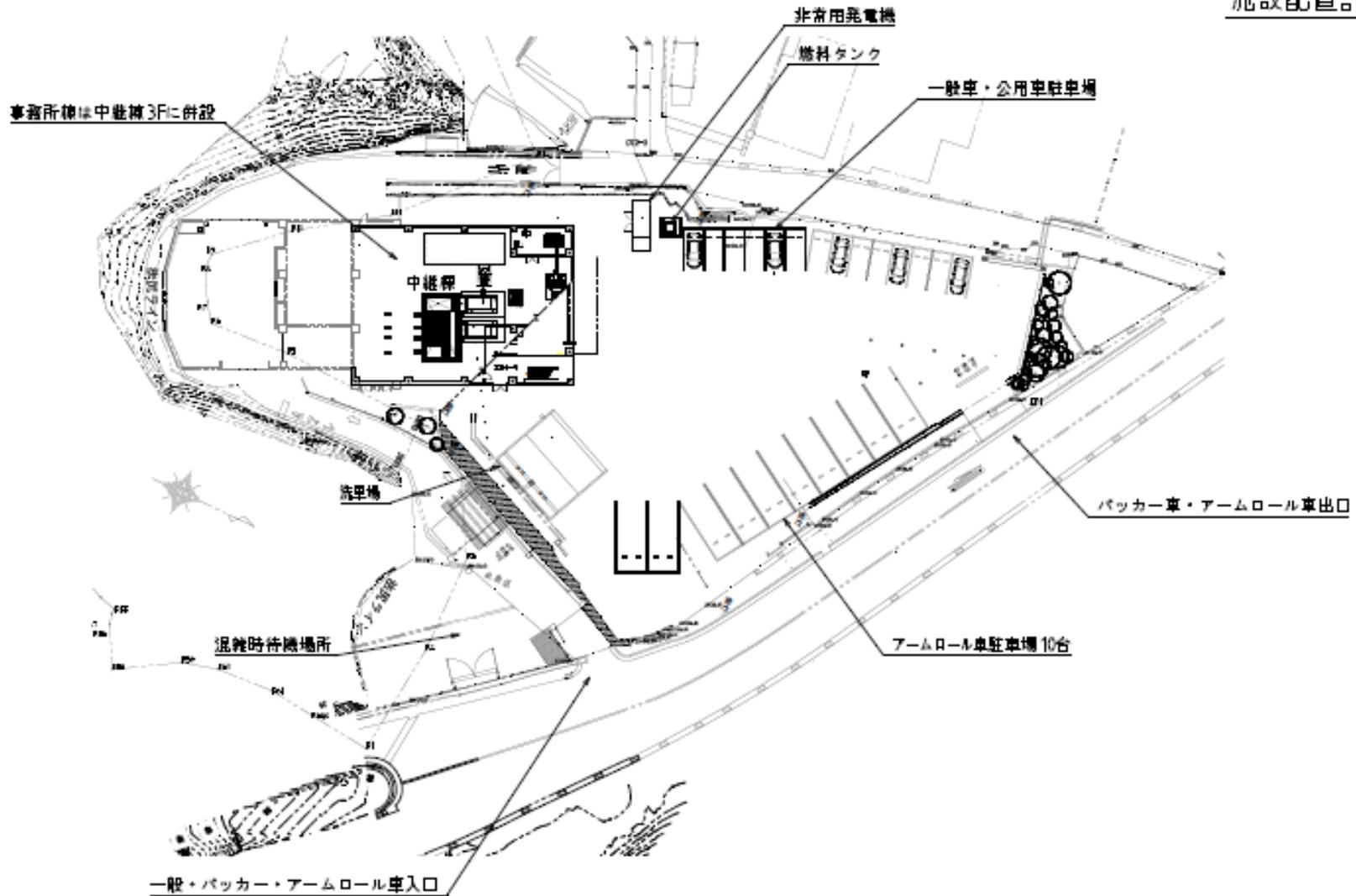
トラブル種別	機器	トラブル事象	頻度	対応策	停止期間	
軽度	コンパクト	接続／離脱不良	数日に1回程度	・日常清掃の徹底 ・運転中の監視徹底	5～20分程度	
		噛み込み異常	月に1回程度	・搬入されるごみ質に応じてホッパ投入タイミングを図る。		
		各シリンダの作動異常	数か月に1回程度	・日常の動作確認実施 ・センサー作動確認		
	コンテナ及び運搬車両	クロスバー挿入/抜取不良	数日に1回程度	・コンテナ点検時の清掃徹底と給油脂		
		運搬車両架装部の作動不良	1年に1回程度	・日常点検の実施		
重度	コンパクト	油圧シリンダ油漏れ	5年に1回程度	・日常点検の徹底 ・規定稼働時間でオーバーホール実施	2,3時間程度	
		油圧配管腐食による油漏れ		・日常点検の徹底 ・油圧配管の一部ステンレス化		
		作動油劣化によるバルブ不具合		・浄油機の設置 ・規定稼働時間で作動油交換		
		シーケンサ不具合による施設停止	7～10年に1回程度	・電源、CPUユニット予備保管		
	コンテナ運搬車両	交通事故	突発的に発生	・GPSによる管理 ・定期点検の実施 ・予備車両の配置		-
	コンテナ	積み下ろし時の落下事故(コンテナの破損)	5～10年に1回程度	・アーム確認装置の設置 ・予備コンテナの保有		

【表4-3】
コンパクトコンテナ方式における
トラブル事例

◆施設配置計画(案)

施設配置計画(案)

S=1/500



◆第4章 処理方式の整理・検討

第4章 処理方式の整理・検討

4. 搬入・搬出条件

- 施設稼働時間(案)、搬入・搬出条件を整理

施設稼働時間(案)

- 稼働日

週6日(月～土曜)

- 運転時間

午前7時～午後5時15分

- 受入対象ごみ

- ・家庭系可燃ごみ
- ・事業系可燃ごみ
- ・火災ごみ
- ・海洋ごみ

搬入条件(案)

- 搬入時間

午前7時～午後4時

- 搬入車両(予定)

塵芥車(2～4.5t), 軽ダンプトラック, 深ダンプトラック, 10tアームロール車

搬出条件(案)

- 搬出時間

午前7時～午後4時(通学時間除く)

- 搬出車両(予定)

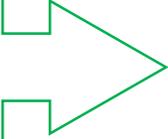
10tアームロール車(約15台/日)

◆第5章 施設基本計画

第5章 施設基本計画

1. 設備計画

- 1) 受入・供給設備
- 2) 積替・搬出設備
- 3) 破碎設備
- 4～8) 各種設備・機能
- 9) 事務所機能



●施設配置計画(案)を踏まえ、導入設備及び機能を整理

●搬送用コンテナストックヤード

- 施設稼働ができない場合に一定量のごみを貯留する必要あり
- 貯留可能量 60-80 t
 - ※通常搬送用コンテナ・予備コンテナ・受入ホッパ
 - ※約半日分を貯留可能

●非常用発電設備

- 停電時においても本施設の中継施設機能を支障なく運転できる容量の非常用電源を設置

●事務所機能

- 管理事務所機能については中継棟に併設する方向で整理

◆第5章 施設基本計画

第5章 施設基本計画 6. 脱炭素関連計画

- 本施設整備における省エネルギー・再生可能エネルギー等の導入に向けた基本的な考え方を整理

<鎌倉市地球温暖化対策実行計画(事務事業編) 令和2年3月策定>

- 2030年度目標：エネルギー起源CO2排出量の40.2%削減(2013年度比)
- 主な施策：市施設における重点施策(空調・照明機器のLED化、環境配慮型電力の調達等)の推進
- 鎌倉市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に明確な位置付けはないが、名越中継施設整備にあたっては、施設の設備機器の導入による省エネルギーの取組、再生可能エネルギー等の導入への配慮が求められる。

●省エネルギー設備

- エネルギー効率の高い設備導入
 - ・断熱材(硬質ウレタンフォーム等)、複層ガラス(真空ペアガラス等)
 - ・高効率空調機、全熱交換器、LED照明の導入

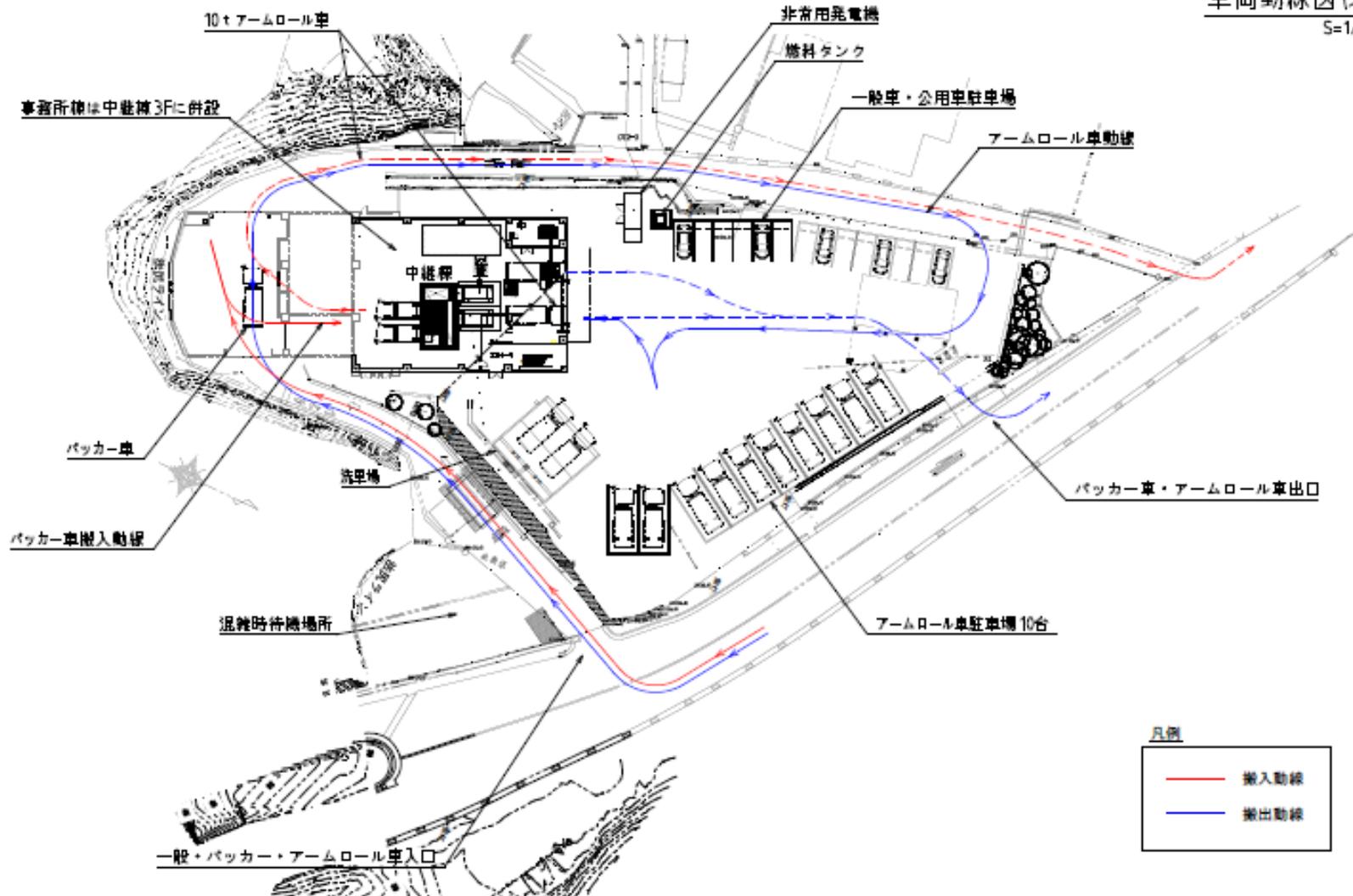
●再生可能エネルギー等の導入

- 地域の防災拠点として災害・停電時のエネルギー供給を確保
 - ・太陽光発電設備の設置(中継棟の屋根等)
 - ・蓄電池の導入

◆施設配置計画図案・動線計画案

車両動線図(案)

S=1/500



◆第2章 計画条件の整理

第2章 計画条件の整理

4. 搬送経路

- 1) 本施設への搬出入経路
- 2) 逗子市既存焼却施設への搬送経路
- 3) 民間事業者への搬送経路

- 搬出入経路の留意点を整理
- 逗子市既存焼却施設及び民間処理施設への搬送経路は関係機関と協議のうえ、適切に選択

●搬出入経路の留意点(案)

- ① 計画地周辺には住宅地及び工場が隣接している。
- ② 本市と逗子市との市境に位置する。
- ③ 県道311号「鎌倉葉山線」に接道し、道路幅員に制約がある。
- ④ トンネル（名越隧道）に近接しており、安全上の配慮が必要である。
- ⑤ 計画地は敷地に高低差がある。
- ⑥ 出入口については前面道路への接道が急角度の箇所がある。

➤詳細については、引き続き県及び県警等と協議

●逗子市既存焼却施設・民間事業者への搬送経路

➤処理施設への搬送経路は、逗子市・所在自治体・県警等と協議のうえ、適切な経路を設定

◆第5章 施設基本計画

第5章 施設基本計画

3. 施設配置計画・動線計画

- 施設配置計画に基づき、搬入及び搬出車両が円滑かつ安全に通行できる動線の設定、周辺道路への負荷軽減策を設定

●搬入車両(塵芥車等)

- 「資料5 施設動線計画(案)」 **赤色部分**

●搬出車両(10t アームロール車)

- 「資料5 施設動線計画(案)」 **青色部分**

●交通渋滞等対策

- 令和4年(2022年)12月開催の住民説明会において、周辺道路における交通渋滞・安全対策の意見あり
 - ・進入口に誘導員を配置
 - ・前面道路上に車両が滞留しないよう、進入口から計量器までの距離を確保
 - ・混雑時は進入口左手の空きスペースに一時的に車両を誘導